上田市と（社福）まるこ福祉会
災害時等における要配慮者の緊急受け入れに関する協定を締結

上田市は（社福）まるこ福祉会（柳澤正敏理事長）と、「災害時等における要配慮者の緊急受け入れに関する協定」を締結。このほど、上田市役所で調印式を行った。

協定書を手に（写真左から）柳澤理事長と土屋市長

同協定は、災害時に高齢者や障がい児（者）ら支援が必要な人など、一般の避難施設では生活が困難な人を対象に、緊急受け入れとして福祉避難所（二次的避難所）を確保し、円滑な対応を行うことを目的とするもの。

具体的には住宅などで被災した避難行動要支援者の緊急受け入れと、市地域防災計画で指定する指定避難施設に避難した要配慮者の二次的避難のための緊急受け入れなど。

締結式には、まるこ福祉会の柳澤理事長と小室邦夫施設長、小山厚志人事・企画管理課長、宇佐美唱主任、職員の割田栄二さんが出席し、柳澤理事長と土屋陽一市長が協定書に署名した。

土屋市長は「要配慮者の人は一般的な避難所での生活が困難な場合があり、よりきめ細やかな配慮が必要となる」とし、協定締結で「災害発生時にも迅速かつ円滑に対応可能になる」と、日ごろの同福祉会の取り組みや協定締結に感謝を伝える。

柳澤理事長は協定締結への感謝と、19号台風での経験から行った様々な備えについて話し、「万が一の時は要配慮者の人だけでなく、一般の人も来ていただければ」と話した。まるこ福祉会では台風でグループホームが浸水した経験などから、プロパンガスのバルク（約1トンのタンク）を設置。家庭用100ボルト、商用200ボルトの大容量発電機を備え、停電しても通常と同様にパソコンやコピー機などが使える環境を備えている。バルクシステムからはプロパンガスを取り出すことができ、炊き出しなどの燃料としても活用できるという。またコメ、味噌など食品も多く備蓄している。

災害時における建設機械の提供に関する協定を締結！
上田市と竹内製作所（坂城町）が調印

協定書を手に（写真左から）竹内社長と土屋市長

上田市は建設機械メーカーの㈱竹内製作所（竹内敏也社長、本社・坂城町）と、「災害時における建設機械の提供に関する協定」を締結。このほど、上田市役所で調印式を行った。

同協定は、災害時に市が実施する応急対策が迅速かつ円滑に行えるよう、竹内製作所が保有する建設機械を提供することについて、必要な事項を定めるもの。災害が発生した際に、市は竹内製作所が保有する建設機械の提供を要請することができ、竹内製作所は業務に支障のない範囲で可能な限り協力する。

調印式には、竹内社長、草間稔取締役、山本寛執行役員人事部長、事務局・米村吉幸さん、同・塚田尚幸さんが出席し、竹内社長と土屋陽一市長が協定書に署名した。

土屋市長は「広範囲の災害では建設機械の需要が一気に高まり確保が困難な状況となって、迅速な復興に支障をきたすことが懸念される」とし、「協定締結で災害時に多様な建設機械を確保することが可能となり、災害復旧に向けた初動がいち早く行える体制が確保されたことは有り難く、有事の際に市民の生活を守るための後押しにつながる」と感謝を伝える。

竹内社長は「自然災害は、いつやってくるかわからない。いつやってきてもいいように、事前に準備しておくことが重要である」とし、「調印式を行えたことで市民の皆さまが少しでも安心して生活ができるよう、上田市との災害時の連携を図る取り組みを進めていきたい」と話した。

協定締結に至る経緯は今年2月、市内上田原に竹内製作所の社員寮が完成。土屋市長も出席した竣工式の際に、上田市で生活する竹内製作所社員が多いことを知り、市から協定締結を申し出た。

白い風のなかで ㊃（上）
拓海　翔

冬の夕暮れが、音楽室の窓を鈍く染める。外の校庭には、わずかに雪が積もり、生徒たちの吐く息は白い。音楽室の空気は冷たく、ストーブがひとつ置かれているが、譜面を持つ指先は、かじかんでいく。

ピアノの前に座った輝彦は、深く息をつき、鍵盤に手を置いた。

室内に満ちる静かな緊張。三年生のクラスの合唱練習は、卒業に向かう年末ならではの特別な時間だ。ピアノの伴奏を静かに始めると、低くやわらかな和音に導かれて、生徒たちの声が重なっていく。

出だしは、まだ、不揃いだ。少し音がずれて、少しだけ誰かの声が浮く。

「もう少し、遠くを見てごらん」

輝彦は、指揮の代わりに、ほんのわずか手を動かし、生徒たちの呼吸を導く。歌いながら、ひとりの生徒が、歌詞のひとことに何かを思い出したように、そっと目を閉じる。隣の生徒は、小さく喉を震わせながら、真っ直ぐ声を出そうとする。

言葉にはしなくとも、それぞれの心の奥に情感が広がっていく。

友だちとの日々、家族への思い、もうすぐの別れ。合唱の曲は、そんな思いを、そっとすくいあげる。曲の途中でピアノの音を止める。

輝彦は小さく頷き、何も言わずに、もう一度、出だしを弾き直す。生徒は、自然と譜面を持ち直した。冷たい空気のなかで、音と声だけが静かに響く。

それは、まだ、拙くても、どこかやさしく、冬の夕刻を少しだけ暖める。こうした時間は、輝彦が、音楽教諭としてのやりがいを感じる時である。

音楽を教えることは、単に技能を教えることではない。それは、心の奥深くに触れ、人生を支える力を伝える営みだ。音楽に出会ったときの思いは、新鮮だ。旋律の美しさに息を呑んだ瞬間、声を合わせたときに広がる響きの喜び、ふと耳にした歌に過去の情景が鮮やかによみがえる驚き。

生きていくなかで、孤独や迷いは避けられない。けれど、音楽は、そのただなかで寄り添う。言葉では表せない悲しみも旋律のなかに沈めれば、やがて、静かに受け入れられる。

苦しいとき、ふとした旋律に救われる。人の心を支える音楽の力を思うと、音楽にかかわる意思は揺るがない。音楽を教えることは、未来に残る種を蒔くことである。

【来週へつづく】

新たな体験型イベント
産業ミライフェスinUEDA2025で開催
オンラインは配信中！

上田市

「産業ミライフェスinUEDA2025《オンライン》」＝写真＝は、1日から始まった。11月28日（金）までオンラインで配信（https://ueda-sangyoten.jp/）する。

内容は①企業・学校・団体などによるオンラインブース出展②リアル展示会内容紹介③オンライン講演会（24日・午後2時～3時30分）「AIを活用した業務改善実践講座～生産性向上とDX推進の第一歩～」で、講師は加藤忠宏氏（有）アイ・リンク・コンサルタント代表取締役）など。問い合わせは同運営委☎22-4500へ。

Robot & Automation Device
FA LABO
業界初！ 協働型アプリケーションの構築を自動化
カーボンオフセット省エネ対策の決定版
「スグラフ！」データ分析アプリ絶賛販売中!!
「スマートLABO体験会」「ロボットスクール・安全特別教育」
お申込み受付中!! 詳しくは弊社営業担当者迄お問合せ下さい。
株式会社デンセン
［本社］〒381-8525 長野県長野市南長池713-1
TEL:026-251-0860 www.densen.co.jp
【電材営業本部】長野・上田・松本・佐久・北信・相模原・長岡・富岡 【FAソリューション事業本部】上田・長野・松本
【Siソリューション事業本部】FA LABO
【ライフソリューション営業本部】住宅ソリューション営業部・エネルギーソリューション営業部・介護福祉サポート事業部（長野南・上田）
【テクニカルソリューション事業本部】【elife イーライフ】HEMS研修センター

未来を建てる。それが私たちの使命です。
MIYASHITA
株式会社 宮下組
代表取締役社長　石塚 博敏
〒386-0017　長野県上田市踏入二丁目１番17号
TEL:0268-22-0271　FAX:0268-25-6124
www.miyashitgumi.co.jp/

処理コード:02687162 61:16261
(FAX) 03-0147-1707